



# 陽子の道政だより

90

2024年 新春号

発行 平出陽子事務所  
連絡先／函館市中島町2-8  
函館教育会館内  
(☎33-5080)

あけまして、おめでとうございます

# 2024年 波乱含みの年明け



北海道議会議員

平出陽子

怒りと政治不信

昨年末から、自民党安倍派の政治資金パークィー会費キックバック問題が表面化し、岸田政

権を揺るかす大疑惑事件に発展しています。これはもう一派閥の問題ではなく、これまでの金権政治そのものが暴露されたことになります。

物価高騰で日々暮らしに汲々としている国民にとつては、この政治家達の姿には怒りと政治不信しかありません。

## 全容解明が絶対条件

政治資金収支報告書の掲載ミスや会計責任者の処罰だけに終わらせるのではなく、指示した議員を特定することが国民の思ひです。

## II 猛暑対策は

へ平出▽來年度から、道内の学校は夏休み期間の延長など考えていますが、やはりクーラーなどの機器の設置が急務です。しかし予算の関係上大規模機器設置は無理で簡易クーラーで一時しのぎをする自治体が増えています。予算の無駄遣いではないか、設置業者の取扱いにならないか心配する声もあがっています。



## 道南の水産業について質問を行う

事案になりました。

これまで問題になつた事業所は、保健福祉部関連事業所ばかりで、詐欺まがいの不祥事事案もありました。緊張感をもつて施策の点検が必要かもしれません。

II 道の物価高騰対策は  
△平出▽子育て中の世帯に対し、  
二回に分け八千円と五千円分の交換券給付を決定しました。それは、道の農産物消費拡大の意味もあり、お米券と牛乳券にしましたが、他の商品と交換可能なので本

来の目的が達せられるのか、高齢者の世帯も生活支援が必要とか疑問を呈する議論もありました。道独自支援として低所得世帯臨時特別給付金（一万二千円）制度も決定しましたが、決済サービス会社のシステム障害で過大給付世帯が発生し、またまた道の謝罪の

## 2022年度 しょうがいがある児童生徒の 道内公立学校での割合

### ○ 小学校

- \* 通常学級 ..... 8.3%
- \* 支援学級 ..... 5.3%

### ○ 中学校

- \* 通常学級 ..... 3.1%
- \* 支援学級 ..... 4.6%

### ○ 高校

- \* 通常学級 ..... 0.8%

高校のインクルーシブ  
教育に大きな課題を  
残して越年しました。

しょうがいのある児童生徒の  
保護者の気持ちを理解する。  
そのためには、しようと  
うがいについてよく理  
解されている特別支援  
学校のノウハウも必要  
になります。

**II 保護者の皆さんと考えは**

△平出▽大多数の保護者の皆さんは、我が子が学校卒業後社会で生活する時に必要なルールや技能を身につけさせたいと、特別支援学校を選択します。

△平出▽日本の「特別支援学校」での教育（しょうがいがある生徒だけが入学対象）とは一線を画します。その点が国連から日本の「しょうがい児童教育が勧告を受けた理由だと思います。

△平出▽「平出▽」の有無に関わらず、同じ場で教育を受け、しうがいのあるあるがままの存在を認め合う教育のことを言います。

**II インクルーシブ教育とは**

△平出▽「インクルーシブ教育が当たり前になる社会を！」

しかし、少数であっても、卒業後は我が子もしようがいがない人たちと共に生活するのだから、学校生活もしようがいがない子どもたちと共に勉強できる環境を選択したいと、通常学校（級）や支援学級に入学させます。支援学級では通常学級と交流学習を進めていますから。

**II 平出さんの考える、共生の社会づくりとは**

△平出▽福祉では、「共生」の考えが根付いています。教育では「教育」が前面に出て、「共育」がまだ一部にしか理解されていない気がします。

△教師自ら、インクルーシブ教育について学ぶ。

△平出▽「しょうがいの有無に関わらず、自分の言動と違う子がいるのが当たり前の学級づくりをする。」



で見る  
**陽子の道政日記**



△ 民主教育をすすめる  
函館市民会議 街宣



△ 民主教育をすすめる函館  
市民会議 要請行動



△ 2024 平出陽子ビアパーティー  
第23回平出陽子杯パークゴルフ大会 ▶



△ 教職員の長時間労働是正を  
もとめる全道リレー講座



△ 交運労協の要請行動



△ ゆたかな教育をめざす  
全道キャラバン(知内町)



△ 日朝連帯函館市民の会学習会

**あとがき**

△平出▽「しょうがいのある子どもの学びが疎かされている」という事実を幾度となく聞かされた昨年。子ども一人ひとりが大切にされ、ワクワクしながら学ぶよろこびを感じ、友だちと一緒にえるのは大切なこと。大人的な誤った考え方や言動が、子どもたちの不安や恐怖、他者不信へと誘導してしまう。どんな年齢であれ、すべての子どもは人格と尊厳のある人の大切な人間であり、今年こそインクルーシブ教育がもっと一般化され、誰もが安心して学べる当たり前の学校であつてほしいと願うばかりです。

△ しょうがい者施設の不妊処置問題

△ 労働相談ダイヤル周知街宣

△ 北教組渡島支部 教育研究集会



<https://www.facebook.com/himawari.hirade>

